

令和2年 7月10日

宗像市長 伊豆 美沙子 様

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像
事務局長 林田 公子

新型コロナウイルス感染症対策についての要望書

新型コロナウイルス感染症対策について、日々のご対応とご尽力に感謝いたします

今回の感染症の感染拡大を防ぐため、学校の休校やコミセンや公民館、図書館などの公共施設の閉鎖、地域行事の中止等様々な対策がとられ 市民生活や経済活動に大きな影響を与えました。

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像では、3月から新型コロナウイルス対策について市民アンケートや聞き取り調査を実施しましたが、乳幼児から高齢者まで幅広く影響を受けており、中には深刻な事例もあることがわかりました。

緊急事態宣言が解除され、多くの市民が、少しずつ普段の生活を取り戻しつつありますが、第2波が来るとの予想もあり、今回の対策について検証し、次の流行に備える必要があると考えます。

この要望書は、市民の意見・要望が多かった、「子ども・教育」「高齢者への対応」「公共施設の利用中止」についてまとめ、要望するものです。

(1) 子ども・教育について

〈学校に関すること〉

感染拡大防止のために、学年末から新学期開始の約3か月間休校の措置が取られました。突然の決定で教育現場は非常に混乱したと思いますが、子どもたちも保護者も困惑し、大きな不安をかかえました。

① 休校中の児童生徒とのコミュニケーションの取り方について

新学期はクラス替えや担任の異動などがあり、環境が大きく変わります。特に小学校、中学校に進級する新一年生は不安が大きいものです。今回の休校期間中、担任や学校からの電話連絡や安否確認はなく、連絡は保護者への一斉メールだけだったことに、不満の声が多く出されました。(宿題を届けに来た先生が、インターホンで在宅を確認しポストに入れるだけで、声掛けもなかった等。)

電話、インターホン越しや玄関先で距離をとるなど方法を工夫して、担任と子どもが直接しっかりコミュニケーションをとる必要があったと考えます。検証と対応について検討してください。

② 子どもたちの心のケアについて

学校が再開され、授業の遅れを取り戻すため、先生方は大変な努力をされていると思います。また、同時に、子どもたちの心のケアにも配慮されているとだと思いますが、1学期は、一人ひとりに寄り添い、心のケアを丁寧に行って、生活の安定を図ることを最優先に進めることを要望します。

③ 学童保育について

今回は、家庭で対応できるところは家庭保育をと要請がありました。そのため、仕事を休んだ親も多

かったようです。エッセンシャルワークの家庭を優先することは理解できますが、様々な事情で仕事を休めないで、市として預かる手立てを講じてほしかったという声が多く寄せられました3密にならない工夫をして（従事者の負担軽減と感染リスクの軽減は大事）、一部の自治体（古賀市、千葉市等）のように学校で受け入れるなどの対応が必要だったのではないのでしょうか。検証と対応を検討してください。

※子どもが学校に行っている間だけ仕事をしている保護者も多く、日ごろは学童保育を利用していなくても、今回の休校中は預けたい親もいました。

④ GIGA スクール構想について

休校が続く中では、学習やコミュニケーションを取るツールとして有効だと考えます。しかし課題も多いと考えています。課題を十分検討し、解決しながら丁寧に進めてください。

課題として考えられること

- ・インターネットの環境整備。各家庭にネット環境が整っている家庭でも、複数人でネットを使用すると、通信がうまくつながらなかったり正常に作動しないこともあること。
- ・接続できる範囲を限定する。（学校でインターネットに上げる動画についても、提示の方法を考える）と同時にメディアリテラシー教育の充実
- ・教師は大きな負担なく ICT 教育に取り組めるよう、児童生徒は機器の操作など正しく理解できるよう、保護者も機器の操作などの理解できるようしっかりサポートをすること。

<居場所・遊び場所について>

乳幼児を持つ保護者は子育てサロンや子育て支援施設が一斉に休止となり、行き場をなくし精神的に追い詰められていた状況がありました、コロナのこともあり、日ごろよりも不安や孤独感を強く感じていたという声を何人からも聞きました。

公園も使用制限がかり、プレーパークも休止となり、子どもたちの居場所は少なくなりました。家庭の中だけで過ごすには限界があり、子も保護者も疲弊していました。感染リスク対策を考えて、継続してほしかったとの声が多数でした。継続できる方法を検討してください。

<相談体制の充実について>

子どもたちの相談窓口としてハッピークローバーは、子どもたちの認知度も高く、アウトリーチの相談会なども力を入れていることはとても評価できます。しかし、電話をかけ慣れていない子どもも多く、メールやLINEによる相談も必要だと感じています。タイムリーに返信がなくても、伝えられたことで子どもが安心できるケースもあります。ぜひ検討をお願いします。

(2) 高齢者への対応について

民生委員や福祉委員の訪問による安否確認等の対面が禁止となり、地域でのサロンやサークル活動も中止となったことで、特にひとり暮らしの高齢者などは、孤立する状況が続きました。高齢者は外に出ること、友人知人と話すことで、心身共に健康を保っている人が多かったので、今回の数か月に及び外出自粛によって、気が落ち込んでいる、足腰が急に弱った、認知症の症状が出るようになった、認知症が進んだ等が、家族や福祉関係の方から出ています。また、孤独死も起きうる状況です。このような

リスクを軽減するために、感染防止対策をしたうえで、訪問などの活動を必要最低限維持すること、サロンや体操教室等の活動が継続できるよう手立ての検討をお願いします。

(3) 公共施設の休止について

公共施設が一斉に休館になり、文化活動やスポーツ・運動の場がなくなりました。

① 図書館の利用について

多くの市民の方から、本の貸し出しを継続してほしいとの意見・要望をもらいました。

ネットや電話で予約し、受け取り時間を指定するなど3密対策をとって、本の貸し出しの継続が出来るか、又、児童生徒には、小中学校の図書館を、学年ごとあるいは地域ごとに時間や曜日を決めて、貸し出しをするなど、検討をお願いします。

② 資源ごみの分別収集の中止について

新型コロナの拡大防止のために地域の分別収集が中止となりました。そのため家庭で保管することが大変で困ったという声が多くありました。高齢化が進み、車を持たない世帯も増えているので、地域での分別収集はマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保とルールを決めて実施できないか検討をお願いします。

(4) ワンストップの相談窓口を

コロナウイルスが原因で収入が減り生活に困っている人等で、どこに相談すればいいかわからなかった、という方が少なくありませんでした。市の広報やチラシを見ても 相談内容によって担当課が様々で迷った方もいたようです。「困ったらここに相談する」というワンストップの窓口が必要だと考えます。検討をお願いします。